

沖縄のSDGsにおいて 若者の参画を促す仕掛けづくり

金沢工業大学 SDGs推進センター長
平本 督太郎



Japan.
Committed
to SDGs

HOKURIKU SDGs STAKEHOLDERS MEETING 2019



全国初のSDGs地域大会

SDGsの達成に関し、169あるターゲットの内65%において「自治体の関与がないと達成が困難である」と言われており、SDGsを實踐する際、自治体の参画込みや地域での推進が重要視されています。

本イベントは、2019年9月6日に富山県立大学本部で開催された「SDGsステークホルダー会議」の「北陸版」とし、北陸地域のすでにSDGs實踐の實踐のある団体、個人、SDGs未来都市認定を受けた自治体を中心に集まり、成果の共有と北陸のありたい未来を議論し、次世代に向けてSDGsで働く未来の姿を提案します。

※SDGs関連教材の表示もあります。

主催：富山県立大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット、金沢工業大学SDGs推進センター
共催：金沢市、白山市、珠洲市、小松市、富山市、南砺市、新加川、JICA北陸
後援：内閣府地方創生推進室、北陸新聞社、北陸中日新聞
運営協力：Start SDGs

2019
12/17 火

9:30-18:00
金沢歌劇座2階 大集會堂、他

石川県金沢市千手町1-1-10

参加無料

・プログラム

- 9:30-10:00 開会
来賓挨拶
情報共有
- 10:10-12:30 分科会（前半）
共通テーマ「北陸の未来と私たちの現在地を考える」
- 12:30-14:00 昼食
- 14:00-14:40 前半分科会報告
- 14:40-16:20 分科会（後半）
共通テーマ「2050年の北陸、理想的な生き方とは？」
- 16:30-16:30 休憩
- 16:30-17:30 次世代への報告と共有セッション
- 17:55-18:00 閉会

・分科会

- ①誰もが暮らしやすいまちとは
- ②イノベーション：地域での創造と世界への発信
- ③教育：人生100年時代のキャリアと学びとは
- ④パートナーシップ：みんなの力を地域で結集する仕組み
- ⑤多様性：多様な人々が意思決定に参加できる社会とは

このイベントは事前お申し込みが必要です

お申し込み先：<http://ouik.unu.edu/en/events/2766>
富山県立大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット
E-MAIL unu-lasouik@unu.edu
TEL 076-324-2366
URL <http://ouik.unu.edu>



開催内容は、当日ライブストリーミングしたうえ、下記アドレスからアーカイブとしてご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/channel/UCLxpNaBCZB0t8w7DDDF03AgA>

北陸SDGsステークホルダーミーティングは、5年間かけて地域の声を日本の政策に反映することを目指す最初の第一歩として開催されました。

2019年9月6日に円卓会議有志が発起人となり開催したステークホルダー会議のような会議により、広く国民の知見をSDGs目標達成へ向けて集めることは極めて重要。同様のステークホルダー会議が東京のみでなく地方でも開催され、また多様な課題に関して実施され、その知見が集積するような方策を検討。

SDGs実施指針改定案(骨子)より抜粋

ミーティングの特徴

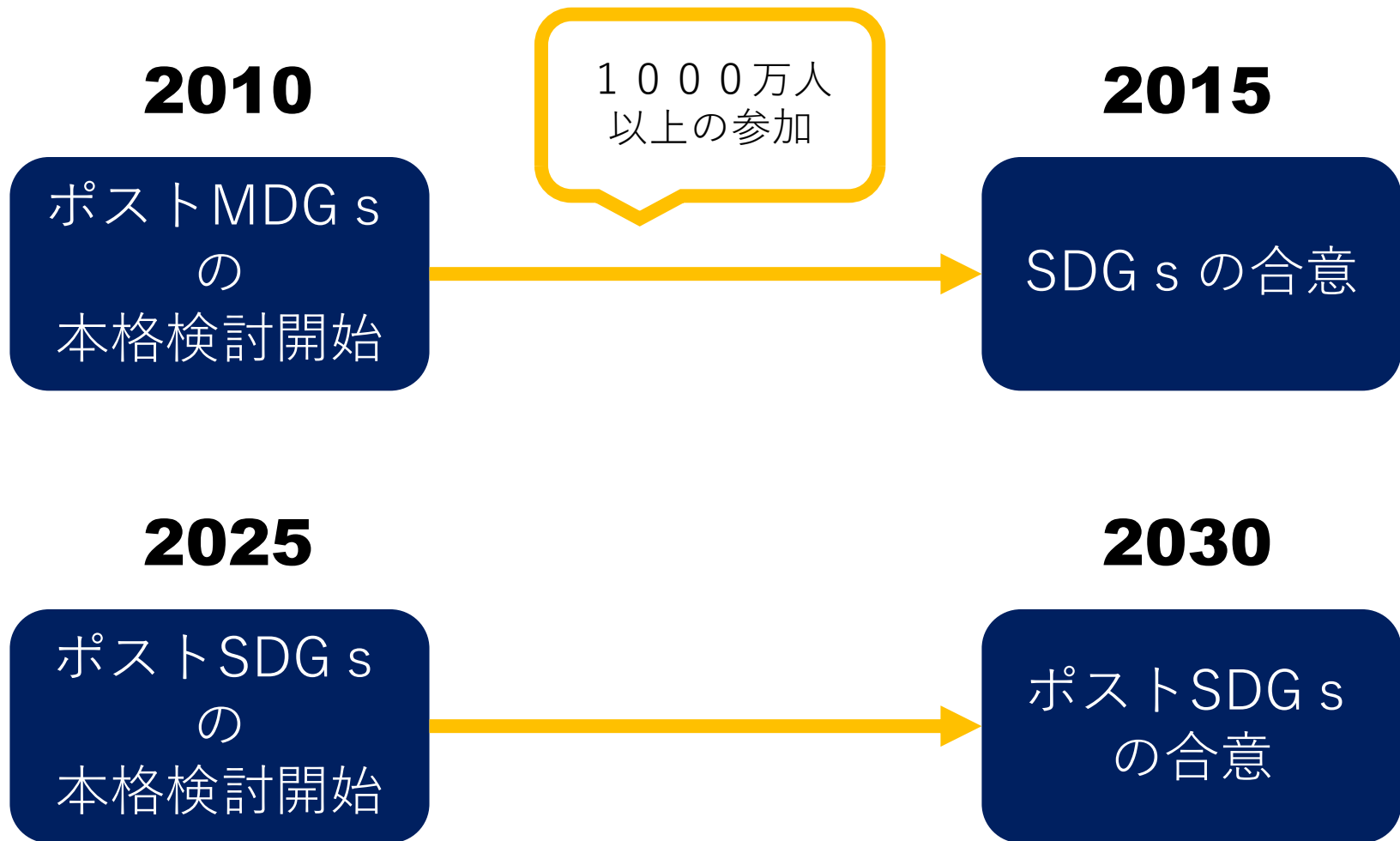
- ① 日本政府によるSDGs実施指針改定に地域の声を反映していくための会議
- ② 県・市町村といった行政区域を越えて地域単位で理想の社会像を描くための会議
- ③ 来年度以降、小中高で拡大するSDGs教育の成果披露の場としての会議

若者に自分たちの思いを発してもらうためには、大人たちがしっかりと準備をして、彼ら彼女らのサポートをしないといけない。

- 未来の主演は若者達だが、若者たちは未来の日本に期待をしていない。
- 若者達に自主的に声をあげてもらうことを待つのではなく、まずは大人達から彼らの気持ちを理解できるように歩み寄っていかなければならない。

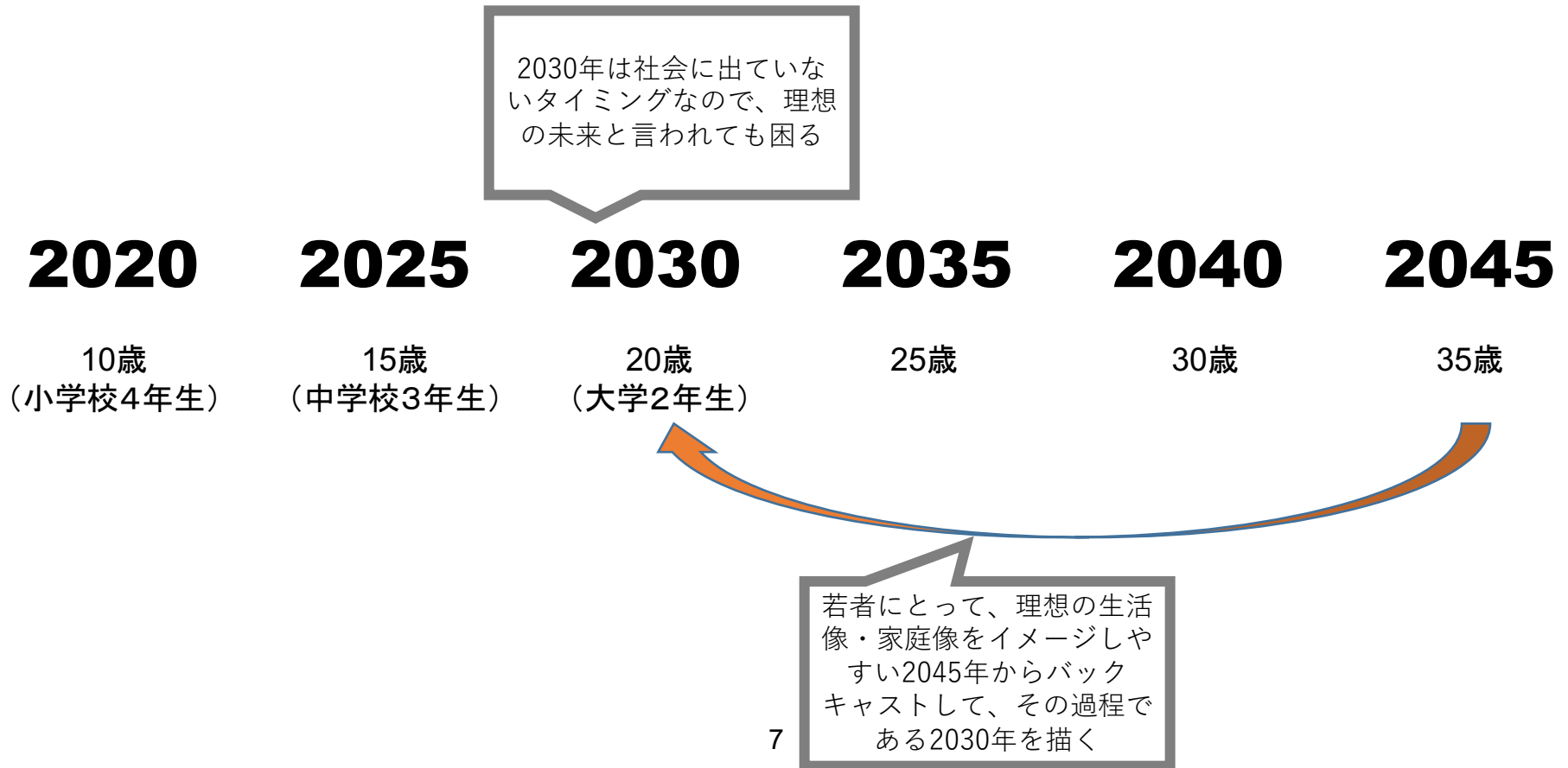


2025年はポストSDGsの本格的議論が始まる年でもあり、それまでに私たちは自分たちの考えをまとめ、実践しておかなくてはならない。



若者達にとっては、2030年は通過点にしかすぎず、社会に出る前の準備期間でしか過ぎないため、2045年まで考えた上でバックキャストで2030年を描くことが望ましい

- 実際に、SDGs 未来都市の浜松市では、若者との対話を重視した上で2045年のあるべき浜松市の未来像を描き、その後バックキャストで2030年を描くという手法を活用している。



若者には大人が考えた若者の理想の人生と、その人生を迎えるために必要なターニングポイントに関する率直な感想を聞きます。

質問3～5：ターニングポイント1の機会に無料で参加できるとしたら、どうするか？

登場人物
(ペルソナ)

ターニングポイント
1

ターニングポイント
2

ターニングポイント
3

理想の未来

質問1：ペルソナ（登場人物）は幸せな人生を送ったなと思ったか？

質問2：自分も同じような人生を歩んだら幸せになれそうと思ったか？

沖縄でも離島を含めた市町村を跨いだ会議、そして若者の視点に立って設計した会議を行うことで、地域の声を国際的に発信できる取り組みとしていただければと思います。